

フルデジタル型超音波探傷器 FlawMIKE DAC

鉄筋ガス圧接部超音波探傷時のメモリー消去と設定の手順

超音波探傷器 FlawMIKE-DAC は各種技量認定試験で持込み受験が認められています。ただし、試験会場から退場前に初期化（メモリークリア）して工場出荷段階の設定にすることが条件になっています。初期化後は普段当たり前に設定されていた前提条件もすべて消えてしまうので戸惑うこともあります。

また、試験会場に持参が必要な部品もあります。ご注意ください。

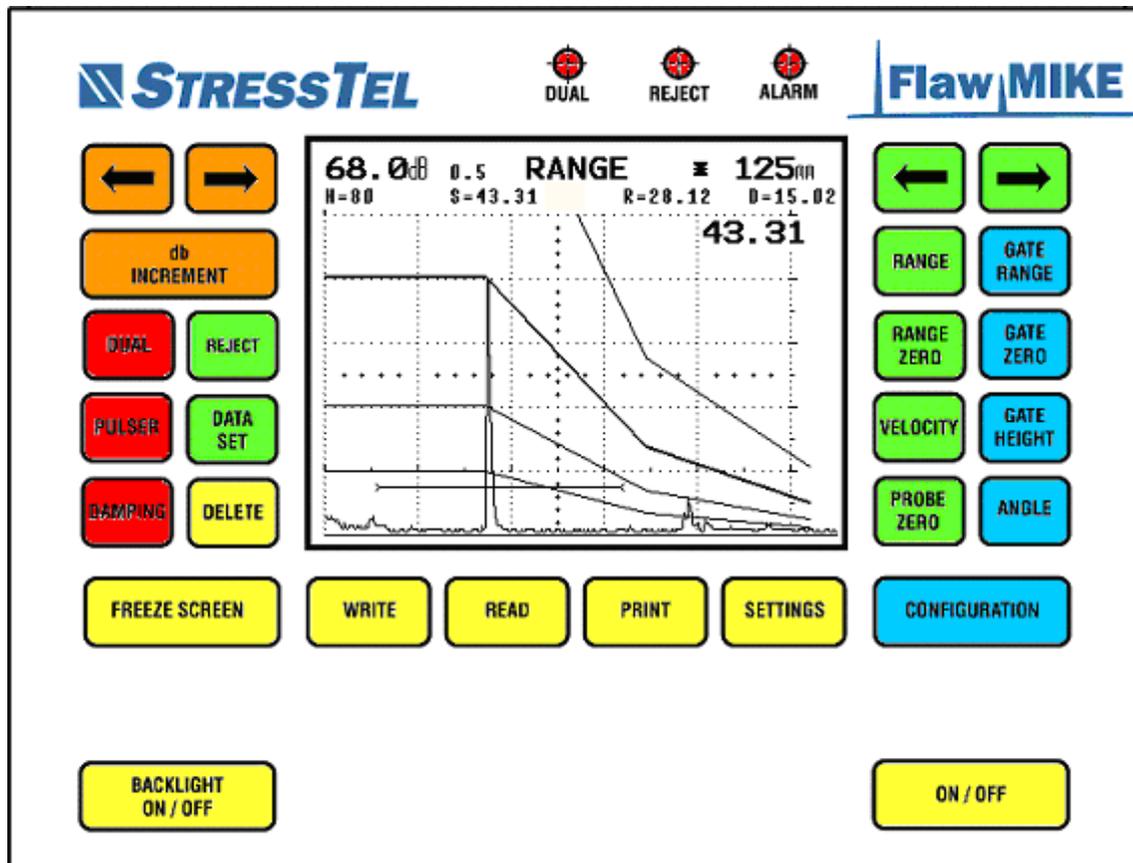
試験会場に持参するもの

1. FlawMIKE DAC 本体
2. 鉄筋ガス圧接部探傷用探触子 2 個
3. BNC-Lemo ケーブル 2 本
4. 単 2 アルカリ乾電池 4 本
5. 専用 AC 電源

専用機USG27A用の探触子USG-271 は使用出来ません。ご注意ください。

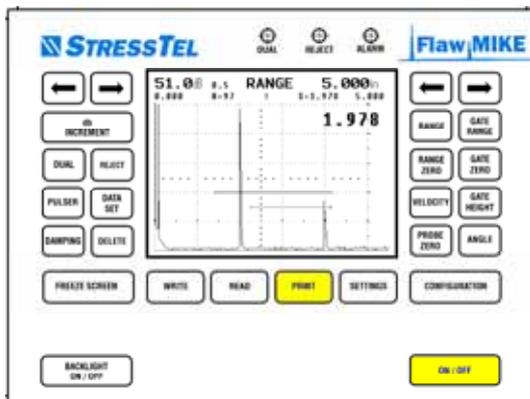
FlawMIKE DACはBNCコネクターです。探傷器側がLemo用のケーブルを使用する場合には変換アダプター2 個が必要になりますのでご注意ください。

FlawMIKE DAC 前面パネル（操作手順を読まれる時にご参照ください）



フローマイクのメモリクリア手順

1. メモリークリアを実行する

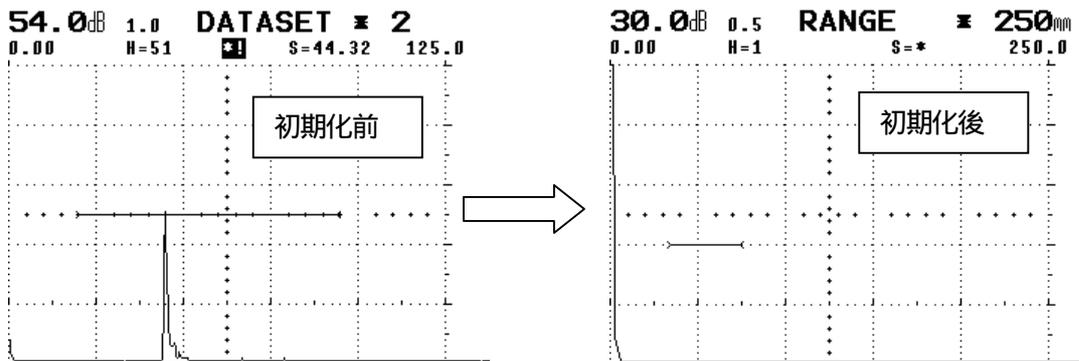


PRINT + **ON/OFF**

ストレステル(Stresstel)社製超音波探傷器フローマイク (FlawMIKEDAC)は PRINT ボタンを押しながら電源導入することで、設定条件は工場出荷時の状態に初期化されます。また内部に記憶されているデータセット 80 個すべても同時に消去されます。

2. メモリークリアを確認する

ユーザーが入力している設定条件は通常の電源の ON/OFF では消去されませんが上記のメモリークリア (初期化) を行うと画面の表示も初期画面に戻ります。

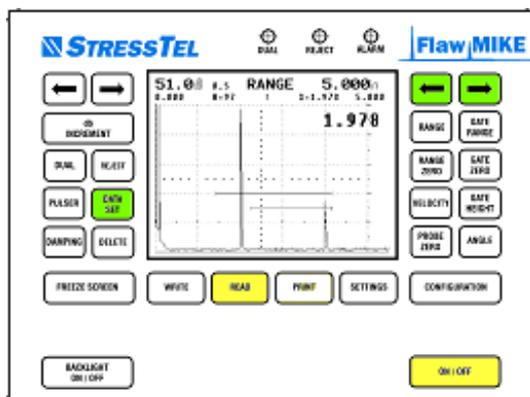


フローマイクは初期化されると上右側の画面表示になります。確認してください。

測定範囲：250mm、Gain：30.0dB Gain step：0.5dB

また DATASET 1～80 の全てで*マークなしの表示になります。(どのメモリーも空であることを示します。)

3. メモリークリアを再確認する



もし必要であれば、DATA SET キーを押し、データセット表示画面にしてから、キーで1番から80番までのデータセットを表示させ、各番号の左側にメモリーが有効である*マークが表示されていないことを確認できます。

フローマイクを鉄筋ガス圧接部探傷用に設定する手順

1. 液晶表示部バックライト ON

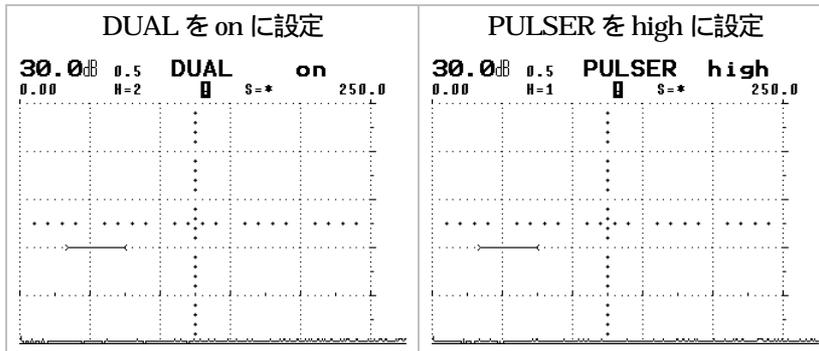
BACKLIGHT ON/OFF を押し、バックライトを点灯

2. PULSER と DAMPING の設定

DUAL を必要な回数押し、**DUAL on** に設定

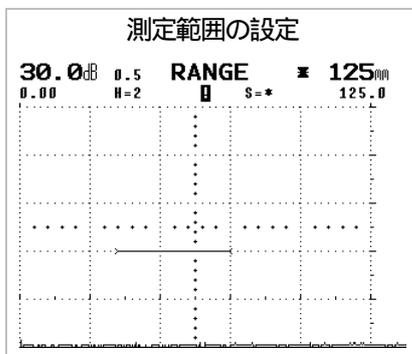
PULSER を必要な回数押し、**PULSER high** に設定

DAMPING を必要な回数押し、**DAMPING low** に設定



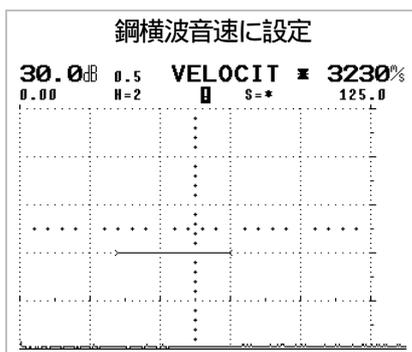
3. 測定範囲の設定

RANGE を押し、RANGE *250mm を   キーで *125mm にする



4. 音速設定

VELOCITY を押し、   キーで *5920 *3230 にする

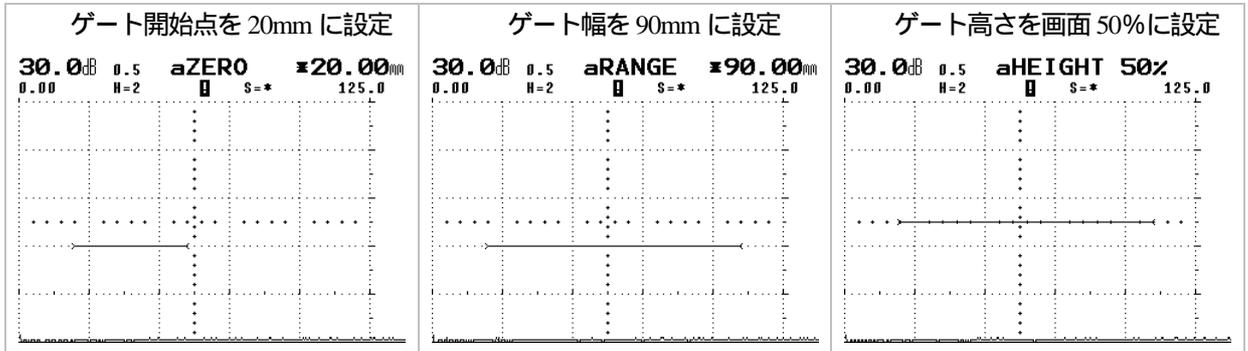


5. ゲート (GATE) 設定

GATE ZERO を押し aZERO を   キーで *35.00mm *20.00mm 前後に

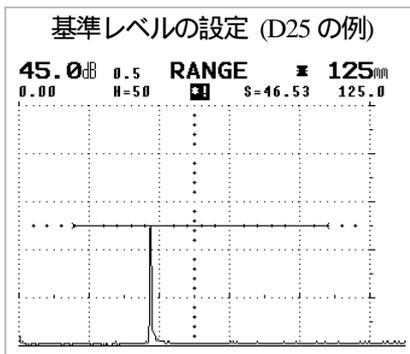
GATE RANGE を押し、aRANGE を   キーで *40.00mm *90.00mm 前後に

GATE HEIGHT を押し、aHEIGHT を   キーで 40% 50%に



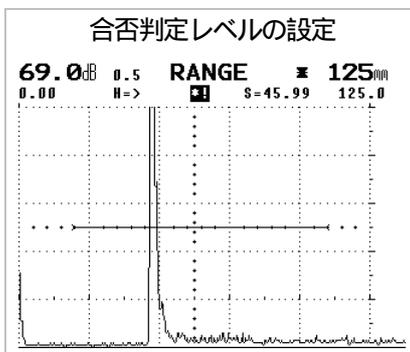
6. 基準レベルの設定

鉄筋母材部での透過走査で透過パルスの高さを   感度キーで画面 50%高さに調整



7. 合否判定レベルの設定

  感度キーで基準レベルより 24 dB 感度を高めます



以上で探傷器 FlawMIKE の調整は終了です。